

生成AIサービス導入支援業務公募型プロポーザルに関する回答書

No	該当ページ等	質問事項	回答事項
1	仕様書 6 生成AIサービス (SaaS型) の機能要件	(1) 基盤モデル・提供形態 - エ プロンプトテンプレートの共同編集について、弊社サービスでは管理者アカウントで共通テンプレートの登録・共有・編集が可能です。各部署の代表者に管理者権限を付与する運用にて当該要件を実現可能ですが、要件を満たしているものと考えてよろしいでしょうか。	要件を満たします。
2	仕様書 6 生成AIサービス (SaaS型) の機能要件	(1) 基盤モデル・提供形態 - オ 庁内ネットワーク端末からとありますが、ネットワークはLGWANの認識で相違ないでしょうか。	LGWAN環境にある端末との認識で相違ありません。ただし、LGWAN環境で使用する場合にはLGWAN-ASP又は無害化処理を経由する仕組みとすること。本端末から仮想ブラウザによりインターネットサイトの利用も可能であり、仮想ブラウザを使用する提案も可能です。
3	仕様書 6 生成AIサービス (SaaS型) の機能要件	(1) 基盤モデル・提供形態 - オ 弊社サービスはLGWAN環境からLGWAN-ASPにてご利用頂く形態となりますが、要件を満たしているものと考えてよろしいでしょうか。	要件を満たします。
4	仕様書 6 生成AIサービス (SaaS型) の機能要件	(4) 利用者数・利用量 - ア 「利用アカウント数は100ユーザー以上が利用できるよう」とありますが、ご利用を想定されている職員様数をご教授いただけますと幸いです。	最低限100人程度に配布したいと考えていますが、より多くの職員に参加させる実証をご提案いただけるようでしたら、ご提案をお願いします。
5	仕様書 6 生成AIサービス (SaaS型) の機能要件	・ ご提案によるものかと思いますが、円滑な導入準備のため、サービス利用開始の最終期限（デッドライン）の想定についてご教示いただけますでしょうか。 ・ SaaS 型での導入ということですので、新規開発は想定しておらず既存サービスをご提供し、利用料金をご提案する形を想定されていることで相違ないでしょうか。 ・ 既存サービスをベースとして、仕様を満たすための開発・改修を行い、SaaS 型サービスとして提供・利用料をご提案することは可能でしょうか。	利用開始時期は5～6月頃を想定しています。受託者が既存で保有・提供しているサービスを利用する形を想定していますが、十分な実証期間を確保できるのであれば、開発・改修を伴う提案をいただいても構いません。
6	仕様書 7 RAG（検索拡張生成）機能要件	RAG 機能は前項の「生成AI サービス」とは別なサービスとしてご提供差し上げても問題ないでしょうか。	生成AIサービスと一体的に利用することを想定していますが、別のサービスとの組み合わせによりそれを実現するというのであれば問題ありません。
7	仕様書 7 RAG（検索拡張生成）機能要件	(2) RAGの機能 RAGの保存容量について、想定されている最大容量の目安がありましたらご教授ください。	最大容量の目安はもっていませんので、ご提案ください。
8	仕様書 9 研修・展開支援	(1) 庁内職員向けの活用促進・定着のための施策（研修やイベント等）について ・ こちらは実施回数に記載されておりませんが、活用促進・定着のために受託者が必要と考える研修・イベントの回数・内容をご提案差し上げることで相違ないでしょうか。最低実施回数の設定がないかの確認となります。	活用促進・定着のために受託者が必要と考える研修・イベントの回数・内容をご提案ください。
9	仕様書 9 研修・展開支援	(2) 市町村職員向けの研修について 「県が蓄積したノウハウを市町村へ展開することが目的」という記載がありますが、実証期間のうち後半に実施することを見込んでいるのでしょうか。現段階で想定している実施時期などありましたらご教授ください。 また、市町村における今後の展開について、想定していることがあればこちらもご教授ください（福島県内での共同調達の予定の有無、市町村独自での導入など）。	市町村向け研修については下半期を想定していますが、具体的な時期の想定はまだありません。 生成AIの活用は庁内業務の効率化に留まらず、住民サービスの向上にも繋がるものであると考えており、そのためにも地域住民と直接的な接点をもつ市町村での生成AI活用について、県として支援していきたいとの意図になります。 共同調達の予定は現時点ではありません。
10	仕様書 11 提出物（成果物）	(4) 月次（または隔月）利用状況レポート レポートとはどのような内容を想定されておりますでしょうか。	組織別、個人別、日別等での利用状況（利用トークン数）など、活用が進んでいるかどうかを定量的に追跡できるもの、また庁内へさらなる活用を促すために把握しておくべき事項がまとまったものと想定しています。
11	募集要領 9 契約相手方候補者の選定方法	(2) ヒアリングの方法 - ア 「ヒアリングは対面で行うもの」とありますが、参加人数について制限等はありますか。	4人以内をお願いします。

生成AIサービス導入支援業務公募型プロポーザルに関する回答書

No	該当ページ等	質問事項	回答事項
12	募集要領 9 契約相手方候補者の選定方法	(2) ヒアリングの方法 - ウ 「提案する生成AIサービスの機能や操作感がわかるデモンストレーションを行うこと。」とありますが、デモンストレーションを効率的に行うために、事前に作成した動画を利用することは問題ありませんでしょうか。	問題ありません。
13	仕様書 6(4)ウ・エ	仕様書6(4)ウ・エでは、月間利用上限をトークン数または文字数で明示し、100アカウント規模で全体月2,000万文字相当以上、1ユーザー当たり月15万文字相当以上を確保すること、また文字数とトークンの換算根拠や超過時の扱いを提案書に明記することと理解しております。 当社提案予定サービスは回数制での提供ですが、1回当たりの利用上限文字数を基に、月間利用可能量を文字数換算で提示することが可能です。 この場合、提案書において「1回当たりの上限文字数」「1ユーザー当たりの月間利用可能利用可能文字数」「100アカウント全体の月間利用可能文字数」および「超過時の扱い」を明記することで、当該要件を満たす提案として差し支えないでしょうか。 また、実証で想定している1ユーザー当たりの標準的な月間利用量の目安があればご教示ください。	「1回当たりの上限文字数」「1ユーザー当たりの月間利用可能利用可能文字数」「100アカウント全体の月間利用可能文字数」および「超過時の扱い」を明記していただければ問題ありません。 1ユーザーあたりの標準的な月間利用量の目安は設定していません。
14	仕様書 6(4)ア・イ	仕様書6(4)ア・イでは、100ユーザー以上の利用と、50ユーザー以上の同時利用に耐えることが要件とされています。 本実証において、想定している最大アカウント数、通常時の想定利用者数、ピーク時の同時利用者数の目安があればご教示ください。 また、100ユーザーは最低必要数との理解で相違ないでしょうか。	想定している最大アカウント数、通常時の想定利用者数、ピーク時の同時利用者数の目安はありません。 100ユーザーは最低必要数となります。
15	仕様書 8(3)	仕様書8(3)では、伴走支援として、月次定例、随時相談、改善提案のほか、ユースケース創出支援、利用ルール・ガイド整備支援、RAGデータ整備支援、効果測定支援が例示されています。 県として想定している伴走支援の頻度、回数、1回当たりの想定時間、相談チャネル、部局ヒアリングの想定回数または対象部局数の目安があればご教示ください。	現時点で想定している回数等はありませんので、自由に提案してください。
16	仕様書 7(2)ア	仕様書7(2)アでは、要綱、手引き、マニュアル、FAQ、過去照会、議事録等を対象としたRAG実証が想定されていると理解しております。 初期投入を想定している文書量について、ファイル数、総ページ数、総容量、主なファイル形式、更新頻度の目安があればご教示ください。	現時点での目安はありません。
17	仕様書 6(1)イ	仕様書6(1)イでは、GPT、Gemini等、業務利用実績のある大規模言語モデルを利用できることとされています。 現時点で県として優先的に想定しているモデル、必須と考えているモデル、または想定していないモデルがあればご教示ください。 また、用途に応じて複数モデルを使い分ける提案は可能でしょうか。	県で想定しているモデルはありません。 用途に応じて複数モデル使い分ける提案も可能です。
18	仕様書 全般	仕様書では、テキスト生成およびRAG機能が中心要件と理解しております。 画像生成・動画生成機能は、本実証の評価対象に含まれるでしょうか。含まれない場合、これらは自由提案として位置付けて差し支えないでしょうか。	画像生成、動画生成機能については、本実証の評価対象に含まれませんが、自由提案していただくのは問題ありません。

生成AIサービス導入支援業務公募型プロポーザルに関する回答書

No	該当ページ等	質問事項	回答事項
19	仕様書 P2 6(1)オ	本業務で利用する「庁内ネットワーク端末」とは、インターネット接続系の端末という理解でよろしいでしょうか。それとも、LGWAN接続系の端末から画面転送基盤等を経由して利用することを想定されていますか。ネットワーク構成（接続経路）の前提条件についてご教示ください。	LGWAN環境にある端末との認識で相違ありません。ただし、LGWAN環境で使用する場合にはLGWAN-ASP又は無害化処理を経由する仕組みとすること。本端末から仮想ブラウザによりインターネットサイトの利用も可能であり、仮想ブラウザを使用する提案も可能です。
20	仕様書 P2 6(4)ウ	利用量の上限（月間合計2,000 万文字相当以上）について、この上限を超過した場合の対応方針を教えてください。「超過分を従量課金として精算する構成」とするか、あるいは「上限に達した時点で利用を制限する構成」とするか、どちらを想定されていますか。	上限を超過したことによる委託料の増額はできませんので、利用を制限する構成でも問題ありません。
21	仕様書 P3 7(2)ア	RAG（検索拡張生成）の対象として想定されている「庁内保有文書」の総データ容量、またはファイル数（目安）を教えてください。また、データの主な形式（PDF、Word、Excel 等）の内訳についても、現時点で想定される範囲でご教示ください。	総データ容量、ファイル数の想定はありません。データ形式についてはPDF、Word、Excel、pptxがメインになります。
22	仕様書 P4 9(2)	市町村職員向けのオンライン研修について、想定されている接続数（受講者数）の規模を教えてください。	接続数は最大で150程度を想定しています。
23	仕様書 P3 8(3)ア	伴走支援における「部局ヒアリング」について、対象となる部局数や、対面・オンラインの実施回数について、現時点で想定されている目安があればご教示ください。	現時点で想定している回数等はありませんので、自由に提案してください。
24	仕様書 P3 8(3)	サービス運営会社に再委託する形で連名の事務局を作って伴走支援を行うのは問題ないでしょうか。	事前に承認を経た場合に再委託が可能になりますが、業務の主たる部分となる場合には再委託することはできません。
25	仕様書p3, 7,RAG（検索拡張生成）機能要件 (2)RAGの機能	1. RAG対象データの量およびファイル形式について 本実証におけるRAG（検索拡張生成）の対象となるデータの詳細を確認させてください。・対象となる「庁内文書・FAQ」等のデータ総量（想定されるGB数やファイル数）はどの程度でしょうか。・一太郎（.jtd）など、行政機関特有のファイル形式があれば、そのファイル形式の種類もご教授いただきたいです。・仕様書に記載の「過去照会」について、具体的にどのような内容（形式や蓄積状況など）を指すのか、差し支えない範囲でご教示頂きたいです。	総データ容量、ファイル数の想定はありません。データ形式についてはPDF、Word、Excel、pptxがメインになります。一太郎（.jtd）もありますが、一太郎形式のデータは対象外となっても問題ありません。過去照会とは、関係機関からの各種照会に対してこれまで対応・回答してきた履歴を指しており、同種または関連する照会があった際に、過去の回答内容を参考にしながら対応するケースを想定しています。
26	仕様書p3-4, 9,研修・展開支援	2. 市町村向けオンライン研修のプラットフォームについて 研修の実施環境について確認させてください。・貴県にて使用する配信ツール（Zoom、Microsoft Teams等）は、どちらをご使用になられておりますでしょうか？（対面研修のみならずオンライン研修の展開も想定しております）	県のアカウントを使う場合はZOOMになります。
27	仕様書p4, 10,分析・評価・報告	3. KPIのベースライン測定について 成果指標である「業務時間削減推計」の算出方法についてお伺いしたいです。・比較対象となる現在の業務時間のベースラインデータ（現行の作業時間等の実績値）は、貴県よりご提供いただける予定でしょうか。	現在の業務時間のベースラインデータはありません。
28	仕様書p2, 6,生成AIサービス（SaaS型）の機能要件 (4)利用者数・利用量	4. アカウントの増減に関する対応について 実証期間中のユーザー追加について確認させてください。・期間中に利用ユーザー数が100名を超えて追加が必要となった場合、追加分の単価設定や予算措置について、現時点での方針を伺えますでしょうか。	御提案をいただきましたユーザー数から、途中でユーザー数を追加することは想定していません。
29	仕様書p4, 12, その他（契約・準拠等）	5. 知的財産権の帰属について 本業務を通じて作成される成果物の取り扱いについてお伺いしたいです。・受託者が作成する「プロンプトテンプレート」や「活用ガイドライン」の著作権は、原則として貴県に帰属するという理解でよろしいでしょうか。	基本的には県に帰属することになりますが、詳細については別途協議することが可能です。

生成AIサービス導入支援業務公募型プロポーザルに関する回答書

No	該当ページ等	質問事項	回答事項
30	生成 AI サービス導入支援業務公募型プロポーザル募集要領P.4	「7 企画提案書等の提出（3）提出方法」について、社内情報セキュリティの関係上、外部のストレージサービスに社内資料をアップロードすることが禁止されております。メール提出を認めていただけますでしょうか。	メールでの提出でも問題ありません。ファイル容量の関係でメールでも送付できない場合は、貴社指定のストレージサービスでの提出でも問題ありません。
31	「仕様書」全体	(8,293,000円) には、令和9年3月末までの生成AIサービス利用料（ライセンス料）がすべて含まれる認識でよいのか。特に次年度分の予算確保の考え方について教示されたい。	8,293,000円は令和9年3月末までのサービス利用料のほか、仕様書の記載の業務も含まれた金額になります。次年度（令和9年度）予算については、本事業の効果等を踏まえて検討を行います。
32	「仕様書」P3 (7(2)ア)	RAGの対象となる「庁内文書」について、現時点で想定されている具体的なファイル形式、ファイル数、および総データ量の目安を教示されたい。	総データ容量、ファイル数の想定はありません。
33	「仕様書」P3 (6(4)エ)	月間の利用上限（2,000万文字相当）を超過した場合の扱いについて、委託金額内での「制限挙動」のみで許容されるのか、あるいは追加費用が発生する可能性があるのか教示されたい。	利用上限を超過したことをもって追加費用を支払うことはできないため、制限挙動の対応で問題ありません。
34	「仕様書」P3 (6(4)ア)、 「仕様書」P4 (9(2))	100 ユーザーのアカウント数について、市町村職員向け研修時に彼らが試用するためのアカウントもこの範囲に含める必要があるのか、別途検討が必要か教示されたい。	市町村職員向け研修時に試用するためのアカウントはこの範囲に含める必要はありませんが、研修の内容上試用のアカウントも払い出せる場合は自由に提案してください。
35	「募集要領」P2 (3(10))	「国際規格等と同等以上のセキュリティ要件」について、ISMAP 登録やISMS認証の保有など、県として必須または推奨とする具体的な基準はあるか。	県として必須とする基準はありません。
36	「仕様書」P3 (7(2)イ)	RAGの回答根拠として提示する「該当箇所・リンク等」について、具体的にどの程度の粒度（例：PDFのページ番号、特定段落へのアンカー、ファイルへの直リンク等）が期待されているか。	RAGの回答根拠として提示する粒度について想定はありませんので、自由に提案してください。
37	「募集要領」P5 (11)	5月上旬の契約締結後、生成AIサービスの提供開始およびRAG機能の稼働開始までに、どの程度の準備期間（リードタイム）が許容されるか。	生成AIサービスの提供開始は遅くとも6月中にお願いいたします。RAG機能の稼働開始はどの業務においてRAG機能を活用するのか等の検討から始めることから、特に具体的な稼働開始の想定はありません。
38	「仕様書」P3 (7(3))	RAG のアクセス制御について、想定する権限の粒度（部局単位／課単位／個人単位／文書単位）を教示されたい。	アクセス制御について想定する権限の粒度はありませんので、自由に提案してください。
39	「仕様書」P3 (8(3)ウ)	RAG対象文書の初期データ整備（電子化、クレンジング、メタデータ付与等）は県側で実施するのか、受託者の業務範囲に含まれるのか教示されたい。紙媒体のみの文書がある場合、その電子化も業務範囲に含まれるか。	初期データの整備は基本県側で行います。紙媒体の文書の電子化は業務範囲外です。
40	「仕様書」P4 (10(1))	RAGによる回答の精度について、実証期間中に達成すべき目標（正答率等）は設定されているか。また、精度評価の方法（職員による人手評価／自動評価等）について想定があれば教示されたい。	特に目標等について定めておりません。
41	「仕様書」P2 (6(5))	「日本国内にサーバを設置していること」の要件について、(a)県のデータ（入力・出力・ログ等）を保管するサーバのみ、(b)LLMのAPI呼び出し先（推論処理サーバ）も含む、(c)SaaS基盤全体、のいずれを指すか教示されたい。	(a)保存（入力・出力・派生物・バックアップ）：国内 (b)監査ログ（取得・保管・解析・バックアップ）：国内 (c)処理（LLM推論含む）：国内リージョンを原則ただし、やむを得ず国外処理が含まれる場合は、海外サーバに県のデータを繰らないこと及び学習・保持・二次利用させないこと。

生成AIサービス導入支援業務公募型プロポーザルに関する回答書

No	該当ページ等	質問事項	回答事項
42	「仕様書」P2 (6(1)オ)	本サービスへのアクセス方式について、(a)LGWAN-ASP経由、(b)インターネット経由（庁内プロキシ通過）、(c)VPN経由、(d)その他、のいずれを想定しているか教示されたい。また、利用端末のブラウザ・OS環境に制約がある場合は併せて教示されたい。	LGWAN環境にある端末での利用を想定しています。ただし、LGWAN環境で使用する場合にはLGWAN-ASP又は無害化処理を経由する仕組みとすること。本端末から仮想ブラウザによりインターネットサイトの利用も可能であり、仮想ブラウザを使用する提案も可能です。
43	「仕様書」P2 (6(2)エ)	利用者認証について、庁内で使用している認証基盤（Active Directory、AzureAD、Google Workspace等）との連携（シングルサインオン等）を求めるか、本サービス独自のID・パスワード認証で足りるか教示されたい。	認証基盤との連携が望ましいですが、独自のIDパスワード認証でも問題ありませんので、自由に提案してください。
44	「仕様書」P2 (6(4)ウ)	月間利用上限の「全体合計で月2,000万文字相当以上」について、(a)ユーザーの入力文字数のみ、(b)入力とAI出力の合計、(c)RAG検索処理（Embedding生成等）のトークンも含む、のいずれを指すか教示されたい。	(a)ユーザーの入力文字数のみ、(b)入力とAI出力の合計、(c)RAG検索処理（Embedding生成等）のトークンも含まれます。
45	「仕様書」P2 (6(1)イ)	実証期間中にLLMのメジャーバージョンアップ（例：GPT-4oからGPT-5等）が発生した場合、新バージョンへの切替は必須か任意か教示されたい。また、切替に伴うコスト増が発生した場合の取扱いについても教示されたい。	バージョンアップへの対応は任意となります、切替にかかるコスト増により変更契約は基本的には行いません。
46	「仕様書」P3 (7(2)ア)	RAG に使用するデータの選定は伴走支援の中で決定される想定かと思うが、参考までに、現段階で想定されているドキュメントの件数・サイズ・ファイル形式について教示されたい。	総データ容量、ファイル数の想定はありません。データ形式についてはPDF、Word、Excel、pptxがメインになります。
47	「仕様書」P3 (8(1)ア)	問い合わせ窓口がメール等となっているが、RAG 提供などの日常業務での連絡ツールについて、対応速度を考えて Teams などのコミュニケーションツールの利用を行いたいが、可能か教示されたい。	Temasによるコミュニケーションツールは使用できませんので、メールでお願いします。
48	「仕様書」P1 (3)	ガバナンス上、AIモデルがホストされているデータセンターも、国内リージョンに限定されるという認識で合っているか教示されたい。	AI利用に伴う保存・処理・ログ管理といった一連の取り扱いについて、原則として国内リージョン内で完結させることを前提としています。 また、やむを得ない理由により一部で国外リージョンでの処理が含まれる場合においても、県のデータが海外サーバに保存・保持されることはなく、学習・二次利用されないことを前提条件とします。
49	「仕様書」P1 (6(1)ア)	利用可能な大規模言語モデルは1 つでも問題ないか、バージョンも1 つでも問題ないか教示されたい。	1 つでも問題ありませんので自由に提案ください。
50	募集要領 「7 企画提案書等の提出 (1) オ - トライアルアカウント情報	審査時に使用されるトライアルアカウントについて、発行を推奨するアカウント数（審査委員の人数等）をご教示ください。 (発行費用が提案者負担となるため、必要数を事前に把握し、アカウント手配とコスト算出を適切に行うため。)	審査時に審査委員にトライアルアカウントを付与する必要はなく、提案者側でデモンストレーション等を行っていただければ問題ありません。
51	募集要領 「9 契約相手方候補者の選定方法」	企画提案の審査を行う「審査会」について、審査委員の想定人数および、所属・役職等の構成（庁内内部局の方のみか、外部有識者が含まれるか等）をご教示いただけますでしょうか。 (提案書やプレゼンテーションにおいて、専門用語の使用レベルなど、審査委員の皆様に合わせて適切な説明内容・粒度を検討させていただくため。)	審査委員は庁内内部局の職員3名にて行います。 説明いただく際は初見の人でも理解できるような説明をお願いします。
52	募集要領 「12 (4) 委託料の支払い方法」	委託料の一部前金払が可能と記載されていますが、適用する場合の前金払いの割合（例：委託料総額の〇割を上限とする等）の規定や目安がございましたらご教示ください。 (初期導入コスト（環境構築やライセンス一括手配など）が発生する場合の、自社の資金繰り要件を確認するため。)	委託料の一部前払いは可能ですが、前払する金額については、契約時に別途協議をさせていただきます。

生成AIサービス導入支援業務公募型プロポーザルに関する回答書

No	該当ページ等	質問事項	回答事項
53	仕様書（案） 「6（1）オ - SaaS型での提供」 「6（2）エ - セキュリティに配慮した利用者認証」	庁内ネットワーク端末からの利用にあたり、県内ネットワーク側でのアクセス制限（プロキシ、ファイアウォールによる特定URL/IPの許可等）の有無をご教示ください。また、既存システムとのシングルサインオン（SSO・SAML認証等）は必須要件に含まれますでしょうか。 （ネットワーク要件や認証方式の仕様を確定させ、導入時の環境構築トラブルを防ぐため。）	インターネット接続系で利用する場合は、ドメイン指定によるフィルタリング解除や固定IPによる接続制限の緩和などの対応が可能です。 認証基盤との連携が望ましいですが、独自のIDパスワード認証でも問題ありませんので、自由に提案してください。
54	仕様書（案） 「6（4）エ - 超過時の扱い」 および、生成AIサービス導入支援業務公募型プロポーザル募集要領 「2（4）委託費の上限」	実証期間中に利用上限（トークンや文字数）を超過した場合、「超過時の扱いを追加購入単価等を明記」とありますが、追加購入を行う場合の費用は本業務の委託費の上限額（8,293,000円）内で収める必要があるのか、別途精算となるのかご教示ください。 （提案額すべてが委託料に含まれるとの記載がある一方、超過利用が発生した場合のリスク負担と運用方針を明確にするため。）	基本的には、利用上限を超過したことをもって追加費用を支払うことはできませんが、追加購入により使用できる場合には単価等を明記してください。ただし追加購入するかどうかは別途協議をさせていただきます。
55	仕様書（案） 「7 RAG（検索拡張生成）機能要件（2）ア」	RAGの取り込み対象となる庁内文書について、想定されるデータ量（ファイル数、ページ数、または総容量の目安）および、主なファイル形式（PDF、Word、Excel、紙をスキャンした画像PDF等）をご教示ください。 （対象データ量やファイル形式（特に画像PDFの有無等）によって、RAG構築に必要なデータクレンジングの工数やシステムリソースが大きく変動するため。）	総データ容量、ファイル数の想定はありません。 データ形式についてはPDF、Word、Excel、pptxがメインになります。
56	仕様書（案） 「8（3）伴走支援」、 「10 分析・評価・報告」	伴走支援における「月次定例」や、中間・最終報告の実施形態についてご教示ください。原則としてオンライン会議（Web会議）での実施で問題ないでしょうか。または、県庁へ訪問しての対面実施が必須（あるいは推奨）となる場面がございますでしょうか。 （本件は予算上限（8,293,000円）内で全てを賄う必要があるため、対面が必須となる場合の出張・交通費をあらかじめ正確に見積もりに含めるため。）	オンライン会議でも対面での実施でもどちらでも問題ありません。
57	仕様書（案） 「9 研修・展開支援（2）」	市町村職員向けのオンライン研修（1回）について、想定される参加人数（または接続拠点数）の規模感をご教示ください。尚、研修は1回に集約した実施をご希望か、もしくはベンダー側の提案により最適であれば回数に分けた方が望ましいかなど、ご意向があればご教示ください。また、実施にあたって県にて指定のWeb会議システム（Teams、Zoom等）はございますでしょうか。 （研修のライセンス枠の確保や、使用するオンライン配信ツールの手配・運用体制を見積もるため。）	県内の59市町村から2名程度の約100名程度の参加を想定しています。実施方法については自由に提案してください。県で指定しているweb会議システムはありませんが、主にZOOMを使用しています。
58	委託契約書（案） 全般（特に第1条、第10条）	本業務の法的性質（契約形態）について確認させてください。契約書（案）には「委託業務の完了」や「検査及び引渡し」といった記載がございますが、本契約は「請負契約」と「準委任契約」のどちらを想定されておりますでしょうか。 （SaaS提供や報告書提出に加えて、継続的な「伴走支援」等の業務が含まれるため、念のため確認させていただきたく存じます。）	仕様書11提出物（成果物）の完成を目的とする請負契約となります。
59	委託契約書（案） 別記「個人情報取扱特記事項」第7（作業場所の指定等）	第7項において「個人情報取扱事務について、甲の指定する場所で行わなければならない」とありますが、RAG対象文書のデータクレンジング等で個人情報を取り扱う可能性がある場合、作業場所は県庁内の指定場所（オンサイト）に限定されるのでしょうか。受託者のセキュアな自社環境やクラウド環境等でのリモート作業も認められますでしょうか。 （クレンジング作業が「県庁内でのオンサイト作業限定」となった場合、担当者の移動や常駐等の稼働コストが跳ね上がり、予算内に収まらなくなるリスクを回避するた	セキュアな環境で実施いただけるのであれば、県庁内に限定することはありません。

生成AIサービス導入支援業務公募型プロポーザルに関する回答書

No	該当ページ等	質問事項	回答事項
60	全体	企画提案の審査から本業務の履行完了までの各過程において、オンライン・対面の実施形態について、何らかの制約や指定はありますでしょうか。	特に制約はありません。
61	募集要領 3プロポーザルに係る事項	複数の企業による共同提案という形態での応募は可能でしょうか。共同提案が不可能で、再委託をする必要がある場合、どのような手続きを踏めばよろしいでしょうか。	共同提案は不可とさせていただき、業務の一部を再委託する場合には、事前に承認を経た場合に再委託が可能になりますが、業務の主たる部分となる場合には再委託することはできません。
62	仕様書 9. 研修・展開支援 (2)	「市町村職員向けのオンライン研修を1回実施すること」と記載されていますが、実施時期・形態に関して追加の指定はありますでしょうか。	実施時期・形態に関しての指定はありませんので、自由に提案してください。
63	仕様書 10. 分析・評価・報告	「10. 分析・評価・報告(2)」の中間報告について、時期の指定はありますでしょうか。	中間報告の時期について、特に指定はありませんので、適切だと思う時期を自由に提案してください。
64	仕様書 11. 提出物（成果物）」の (1)～(3)	「11. 提出物（成果物）」の(1)～(3)については、企画提案書内で作成・記載する認識でよろしいでしょうか。また、(4)及び(5)については、都度の指示に基づき提出する想定でよろしいでしょうか。	「11. 提出物（成果物）」(1)～(2)については契約締結後、早期に御提出ください。(3)～(5)の提出時期については別途指示をさせていただきます。
65	仕様書 8. 運用保守・サポート要件 (3)	伴走支援等を行う際の福島県側の実施体制についてご教示ください。また、当該体制を踏まえ、当社側からも体制案を提案する必要があるとの認識でよろしいでしょうか。 伴走支援に含まれる部局ヒアリングについて、想定されている対象部局数をご教示ください。あわせて、本点についても提案内容に含める形式でよろしいでしょうか。	福島県側の伴走支援については、2～3名程度で行う予定です。 伴走支援に含まれる部局ヒアリングについて、現時点で想定している部局数はないことから、対応できる内容等については自由に提案してください。
66	仕様書p.1	「性能は、～実務利用に耐える水準であること。」という定性的要件に対して、根拠・評価情報として想定されている情報をご教示ください。	業務文書作成や資料要約、検討業務の支援を目的として活用されている実績等について記載してください。
67	仕様書p.2	「管理操作ログ」について、管理者アカウントによるログイン・ログアウトの履歴を確認できる機能と認識して差し支えないでしょうか。	管理操作ログは、入力データやシュル直データなど不正利用の監視ができる観点でのログも含まれます。
68	仕様書p2	オ SaaS 型で提供され、庁内ネットワーク端末から Web ブラウザ(Google Chrome等)で利用できること(クライアントアプリの個別インストール不要であること)。 について 職員端末からインターネットへの接続において、ドメイン指定によるフィルタリング解除や固定IPによる接続制限の緩和などは、貴庁にて設定変更が可能でしょうか。あるいは、既存のプロキシサーバやファイアウォールの制限により、通信先の追加に制約がありますでしょうか。 また、Webブラウザ利用について、当該ブラウザは職員端末の「ローカルブラウザ」から直接SaaSへ接続する想定でしょうか。あるいは、「仮想ブラウザ (RBI等)」を介した利用を想定されていますでしょうか。	インターネット接続系で利用する場合は、ドメイン指定によるフィルタリング解除や固定IPによる接続制限の緩和などの対応が可能です。

生成AIサービス導入支援業務公募型プロポーザルに関する回答書

No	該当ページ等	質問事項	回答事項
69	仕様書p2	<p>エ</p> <p>利用者認証は不正アクセス防止策等を有する、セキュリティに十分配慮した仕組みであること。</p> <p>について</p> <p>本業務は生成AIの有効性等を検証する実証フェーズであることを踏まえ、利用者認証については、ID・パスワード認証や多要素認証（MFA）等の不正アクセス防止策を講じることで、本項のセキュリティ要件を満たすものと判断してよろしいでしょうか。</p> <p>庁内基盤（Active Directory等）とのシングルサインオン（SSO）連携等については、導入コストやネットワーク設定の工数を考慮し、今回の実証期間内においては必須要件とせず、実証結果を踏まえた最適な連携方式を整理・提言する形で差し支えないでしょうか。</p>	お見込みのとおりです。
70	仕様書p2	<p>ア 日本国内にサーバを設置していること、または準拠法が国内であること等、公共機関利用に必要な法令・契約上の統制が可能であること。</p> <p>について</p> <p>情報漏洩防止、ログ管理、権限管理、監査対応等のセキュリティが行政利用として十分である提案ができれば、LLMによる推論処理を行うサーバについて、海外モデルも許容可能でしょうか。</p> <p>また、政府情報システムのためのセキュリティ評価制度（ISMAP）に登録されていることは本要件を満たすものとして判断してよろしいでしょうか。</p>	お見込みのとおりです。
71	仕様書P2	<p>ア</p> <p>日本国内にサーバを設置していること、または準拠法が国内であること等、公共機関利用に必要な法令・契約上の統制が可能であること。</p> <p>について</p> <p>本業務で提案する生成AIサービスにおいて、利用者が入力したデータおよび生成された結果の「保存場所」が日本国内であり、かつ契約上の準拠法が日本法である場合、一時的な「推論処理（LLMの実行）」を行うサーバが国外に所在する構成（グローバルモデルの利用等）についても、本要件を満たすものと判断してよろしいでしょうか。</p> <p>また、当該サービスが政府情報システムのためのセキュリティ評価制度（ISMAP）に登録されていること、あるいはそれに準ずる第三者認証（SOC2、ISO/IEC 27017等）および適切な機密保持契約を締結していることをもって、「公共機関利用に必要な法令・契約上の統制が可能」であることの判断基準（根拠）としてよろしいでしょうか。</p>	お見込みのとおりです。
72	仕様書p3	<p>ア 甲が指定する庁内文書（例：要綱、手引き、マニュアル、FAQ、過去照会、議事録等）を取り込み、検索・参照して回答できること。</p> <p>について</p> <p>本実証におけるRAGの対象データ量はどの程度を想定されていますか？ 特定の業務（数個～十数個のファイル）に特化したナレッジベースとしての検証を想定されているのか、あるいは全庁的な膨大なドキュメント群（ファイルサーバ等）を横断的に検索する仕組みを想定されているのか、現時点でのイメージをご教示ください。</p>	<p>総データ容量、ファイル数の想定はありません。</p> <p>RAGを使用する業務は、財務や庶務などの問合せの多い業務のマニュアルやFAQなどを集約・構造化し検索、活用しやすくすることを想定しています。</p>